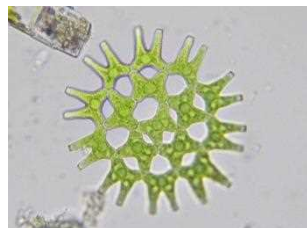


ミクロキスティス
(2.5~9.5 μm)



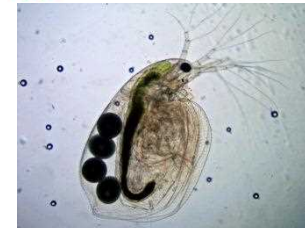
アウラコセイラ
(直径 5~20 μm 長さ 5~24 μm)



クンショウモ
(長さ 10~15 μm)



ミドリムシ
(長さ 100 μm)



オカメジンコ
(メスの大きさ約 1.2~1.9mm)



ラップムシ
(個体の大きさ 150 μm~2mm)



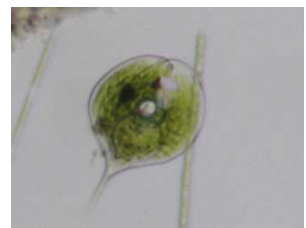
アナベナ
(11~15 μm)



タルケイソウ
(直径 8~35 μm 長さ 9~13 μm)



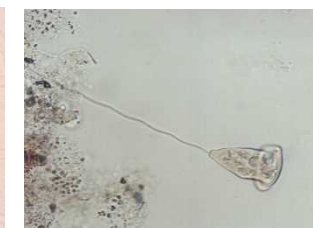
イカダモ
(長さ 12~28 μm)



ウチワヒゲムシ
(長さ 50~100 μm)



カブトムジンコ
(メスの大きさ約 1.3~3mm)



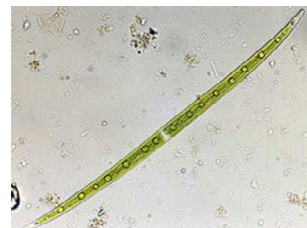
ツリガネムシ
(個体の大きさ約 50~125 μm)



プランクトンストリックス(ユレモ)
(直径 4~10 μm)



ヒメマルケイソウ
(直径 10~30 μm)



ミカヅキ
(長さ 170 μm~450 μm)



ケラチウム
(長さ 100~200 μm 幅 30~50 μm)



ソウミジンコ
(メスの大きさ約 0.5mm)



ツボワムシ
(個体の大きさ 300~500 μm)



ハリケイソウ
(長さ 100~300 μm 幅 5~6 μm)



クチビルケイソウ
(長さ 50~100 μm)



カイミジンコ
(0.5~1.0mm)



ヒゲナガケンミジンコ
(オスの大きさ約 1mm)



ケンミジンコ
(メスの大きさ約 0.9~1.7mm)



フクロワムシ
(個体の大きさ約 600~1400 μm)

※ プランクトンの写真は、倍率を変えて撮影しています。大きさや大小関係は正しくありません。

※ 数字は、断りのない限り細胞 1 個、または個体の大きさを表しています。

ミジンコの体

ふん
吻

口のように見えますが、口ではありません。本当の口はもう少し下にあります。

ふくがん
複眼

複眼は、成長すると左右が合わさり1つになります。

たんがん
単眼

複眼の下に1つあります。吻の少し横に点のように見えます。

きょうきゃく
胸脚

脚にはエラがあり、ここで呼吸をしています。これを動かして、植物プランクトンをくしのような毛でこしとって食べます。

びそう
尾爪

胴体にあって、自分で動かすことができます。種を特定するのに重要な部分です。

* 体の大きさは数mmです。

だいにしよっかく
第二触角

先が2つに分かれています。これを動かして水の中を跳びはねるように泳ぎます。

ちょう
腸

食べた物が動いていきます。食べた物を消化・吸収します。

しんぞう
心臓

1分間に200回以上動きます。温度が低いときは少なくなります。血管はありません。細胞のすきまを血液が流れています。

らん
卵

卵はメスの体の中でかえります。子は親の体の外に出た後、脱皮を繰り返しながら成長します。

かくし
殻刺

からの下部のとがったところで、自分で動かすことはできません。

こうもん
肛門

下の方にあります。ここからふんを出します。

ミジンコは、世界各地の湖沼にすみ魚類のえさとなっています。エビやカニと同じ甲殻類のなかまです。

体の形は円形や楕円形をしていて左右2枚のかたい殻におおわれています。脱皮を繰り返して成長していきます。

(1) 体の色

からだは透明で、心臓の動きや腸の中の様子、卵が見えます。

(2) 眼

単眼と複眼があります。明るさを感じることはできますが、形までは見えません。

(3) 第一触角

吻の近くに小さな第一触角があり、においなどをかぎわけます。

(4) 産卵

大人になると、1度に最大40個の卵を産みます。2日で卵から子どもが生まれます。(一生に400個産卵します)





(5) 寿命

寿命は温度で変わります。23℃で1ヶ月、10℃で半年ぐらいです。

プランクトンの役割

- ・植物プランクトンは、水中の二酸化炭素と水を使って光合成を行い酸素をつくります。酸素の生産量は、植物全体の約半分になります。水中の栄養が多くなりすぎると水は富栄養化し、植物プランクトンが増えすぎて汚れます。
- ・動物プランクトンは、植物プランクトンを食べてふえます。動物プランクトンは魚のえさとなります。

食物連鎖

栄養   植物プランクトン  動物プランクトン  魚

